無線LANアクセスポイント
WLA-T1-L11
ユーザーズマニュアル

このたびは、無線 LAN アクセスポイント WLA-T1-L11 をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。本書は、無線 LAN アクセスポイントの取り扱いかたについて説明しています。
無線 LAN アクセスポイントを正しくお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください。

電波に関する注意

- 本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、技術基準適合証明を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本製品は、日本国内でのみ使用できます。
- 次の場所では、本製品を使用しないでください。
  電子レンジ付近の磁場、静電気、電波障害が発生するところ（環境により電波が届かない場合があります。）
  ※ 弊社製無線プリンタバッファ（RYP-G）、他社製の無線プリンタバッファなどで 2.4GHz 付近の電波を使用しているものの近くで使用すると双方の処理速度が落ちる場合があります。
- 本製品は、技術基準適合証明を受けていますので、以下の事項をおこなうと法律で罰せられることがあります。
  - 本製品を分解 / 改造すること
  - 本製品の裏面に貼ってある証明ラベルをはがすこと

本製品は、オペレーションシステムとして、GNU General Public License Version 2, June 1991 に基づき、Linux Kernel (Copyright 1991, 1992, 1993, 1994, 1995, 1996 Linus Torvalds 但し、プログラムの一部については他にも著作権者が存在する。) を採用しております。
Linux Kernel は、GNU General Public License Version 2, June 1991 に従うことを条件として、一般に公開されており、そのソースコードと GNU General Public License Version 2, June 1991(英文) は、当社のホームページ (http://www.melcoinc.co.jp/) からダウンロードできます。Linux Kernel については、フリーウェアとしての性格上著作権による保証はなされておりませんが、本製品についてはオペレーションシステムの動作を含め、保証書記載の条件により当社による保証がなされています。

本製品では、以下の 3 つのソフトウエアも使用しています。
・ISC DHCP Ver 2.0
・apache Ver 1.2.6
・perl Ver 4.00
GNU General Public License および上記の 3 つの Public License や配布に関する条項については、当社のホームページ (http://www.melcoinc.co.jp/) をご覧ください。

- 本製品の使用する無線チャンネルが出荷時設定以外の場合は、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。
  ・産業・科学・医療用機器
  ・工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局
    ①構内無線局（免許を要する無線局）
    ②特定小電力無線局（免許を要しない無線局）
- 本製品の無線チャンネルを出荷時設定以外に設定して使用する場合は、上記の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。但し、本製品の周波数が出荷時設定（14 チャンネル）の場合は、上記の機器と電波干渉をすることはありません。
  1 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
  2 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに本製品の使用周波数を変更して、電波干渉をしないようにしてください。
  3 その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社インフォメーションセンターへお問い合わせください。

使用周波数帯域	2.4GHz
変調方式	DS-SS 方式
想定干渉距離	40m 以下
周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ「構内無線局」「特定小電力無線局」帯域を回避可能

安全にお使いいただくために必ずお守りください

お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しました。
正しく使用するために、必ずお読みになり、内容をよく理解された上でお使いください。なお、本書には弊社製品だけでなく、弊社製品を組み込んだパソコンシステム運用全般に関する注意事項も記載されています。
パソコンの故障 / トラブルや、いかなるデータの消失・破損または、取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障 / トラブルは、弊社の保証対象には含まれません。あらかじめご了承ください。

■使用している表示と絵記号の意味

警告表示の意味

⚠警告	**絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**
⚠注意	**この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害の発生が考えられる内容を示しています。**

絵記号の意味

△	**△は、警告・注意を促す記号です。△の近くに具体的な警告内容が描かれています。（例：感電注意 ）**
⃠	**○に斜線は、してはいけない事項（禁止事項）を示す記号です。○の中や近くに、具体的な禁止事項が描かれています。（例：分解禁止）**
●	**●は、しなければならない行為を示す記号です。●の近くに、具体的な指示内容が描かれています。（例：電源プラグをコンセントから抜く）**

⚠警告

分解禁止

本製品の分解や改造や修理を自分でしないでください。
火災や感電の恐れがあります。

禁止

濡れた手で本製品に触れないでください。
感電、故障の原因となります。

電源プラグを抜く

煙が出たり変な臭いや音がしたら、電源スイッチを OFF にし、AC コンセントから電源プラグを抜いてください。
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。
弊社インフォメーションセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

電源プラグを抜く

本製品を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
衝撃を与えてしまったときは、本製品が故障して、火災や感電の原因となります。
弊社インフォメーションセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

電源プラグを抜く

本製品に液体をかけたり、異物を内部に入れたりしないでください。
液体や異物が内部に入ったまま使用を続けると、ショートして火災になったり、本製品の故障の原因となります。
弊社インフォメーションセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

禁止

電源ケーブルを傷つけたり、加工、加熱、修復しないでください。
火災になったり、感電する恐れがあります。
●設置時に、電源ケーブルを壁やラック（棚）などの間にはさみ込んだりしないでください。
●重いものをのせたり、引っ張ったりしないでください。
●熱器具に近づけたり、過熱しないでください。
●電源ケーブルを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
●極端に曲げないでください。
●電源ケーブルを接続したまま、機器を移動しないでください。
万一、電源ケーブルが傷んだら、弊社インフォメーションセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

強制

AC ケーブルは、AC コンセントに完全に差し込んでください。
差し込みが不完全なまま使用するとショートや発熱の原因となり、火災や感電の恐れがあります。

⚠注意

強制

静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにしてください。
人体などからの静電気は、本製品を破損、またはデータを消失・破損させる恐れがあります。

強制

パソコンおよび周辺機器の取り扱いは、各マニュアルをよく読んで、各メーカーの定める手順に従ってください。

強制

各接続コネクタや吸気口のチリ・ホコリ等は、取りのぞいてください。
故障の原因となります。

禁止

次の場所には、設置および保管をしないでください。感電、火災の原因となったり、製品に悪影響を及ぼすことがあります。

- 強い磁界、静電気が発生するところ
  故障の原因となります。
- 振動が発生するところ
  けが、故障、破損の原因となります。
- 平らでないところ
  転倒したり落下して、けが、故障の原因となります。
- 直射日光が当たるところ
  故障や変形の原因となります。
- 火気の周辺、または熱気のこもるところ
  故障や変形の原因となります。
- 漏電、漏水の危険があるところ
  故障や感電の原因となります。
- ほこりの多いところ
  故障の原因となります。

強制

100V 電源のコンセントより電源を供給してください。
100V 以外のコンセントから電源を供給すると本製品が正しく動作しない恐れがあります。

強制

側面の通気口をふさがないように設置してください。
故障の原因となります。

強制

本製品に接続されているケーブルに足を引っかけたり、引っ張ったりしないでください。
本製品の破損や思わぬけがを招く恐れがあります。

■本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更することがあります。
■本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または弊社インフォメーションセンターまでご連絡ください。
また、本製品の使用に起因する損害や逸失利益の請求などにつきましては、上記にかかわらず弊社はいかなる責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。
■ 本製品は一般的なオフィスや家庭の OA 機器としてお使いください。万一、一般 OA 機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。
- 一般 OA 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときは、ご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。

■本製品は日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外で使用した場合の運用結果につきましては、いかなる責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。
また弊社は、本製品に関して海外での保守および技術サポートは行っておりません。
■本製品のうち、外国為替および外国貿易管理法の規定により戦略物資等 (または役務) に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可 (または役務取引許可) が必要です。

目 次

本書の使い方

本書を正しくお使いいただくための表記上の約束ごとを説明します。

■表記上の約束

注意マーク

⚠注意　**製品の取り扱いにあたって注意すべき事項です。この注意事項に従わなかった場合、身体や製品に損傷を与えるおそれがあります。**

メモマーク

メモ　**製品の取り扱いに関する補足事項、知っておくべき事項です。**

参照マーク

▶参照　**関連のある項目のページを記しています。**

次へマーク

次へ　**次にどこのページへ進めばよいかを記しています。**

コラムマーク

このマークがついている説明文は、知っていると便利な知識について説明しています。

■文中の用語表記

- 文中［ ］で囲んだ名称は、操作の際に選択するメニュー、ボタン、テキストボックス、チェックボックスなどの名称を表わしています。
- 文中『 』で囲んだ名称は、ソフトウェアやダイアログボックスの名称を表わしています。
- 本書では原則として WLA-T1-L11 を本製品と表記しています。
- 本書では原則として弊社製無線 LAN カードを装着したパソコンを無線 LAN パソコンと表記しています。
- 本書では原則として本製品を設定するパソコンを設定用パソコンと表記しています。

使用上のお願い

本製品は精密機器です。正しいご使用のために、本書を必ずお読みください。
パソコンの故障／トラブルまたは、取り扱いを誤ったために生じたアクセスポイントの故障／トラブルは、弊社の保証対象には含まれません。

ご使用になる前に

本製品をお使いになる前に知っておいていただきたいことを説明します。必ずお読みください。

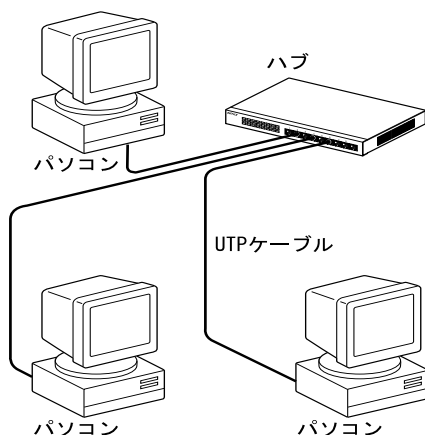
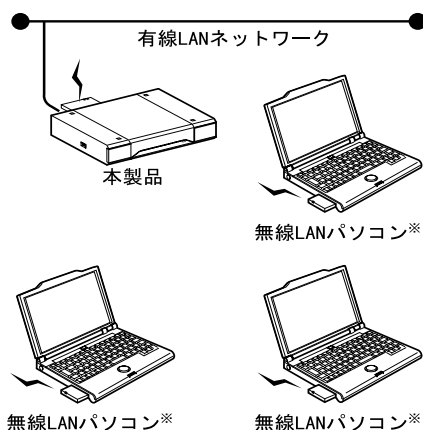
「有線 LAN」と「無線 LAN」について

ケーブルで接続された 10/100BASE の LAN と、ケーブルを使用しない無線 LAN を明確に区別するために、本書では、次の用語を使用しています。

有線 LAN・・・・ケーブルで接続された LAN

無線 LAN・・・・無線通信を使用した LAN

上記は、説明のために、本書のみで便宜上使用する用語であり、一般的には使用されません。あらかじめご了承ください。

有線 LAN の構成例

無線 LAN の構成例

※ 本書では原則として弊社製無線LANカードを装着したパソコンを無線LANパソコンと表記します。

本製品の概要

本製品の特長、動作環境について説明します。

■特長

本製品は、弊社製無線LANカード（別売：WLI-PCM-L11）を装着したパソコンと有線LAN上の10BASE-Tネットワーク間の通信を行うための無線LANアクセスポイントです。主な特長は次の通りです。

- **有線LAN/無線LAN間のブリッジ機能搭載**
- **IEEE802.11bに準拠し、無線上で通信速度11Mbpsの通信が可能**
- **見通し屋内50m/見通し屋外115mまでの通信が可能。**
  ※11Mbps通信時は屋内25m/屋外50m（見通し）
  （ただし、スチール机やスチール棚などの金属製のものの近くや、電子レンジ・無線プリンタバッファの近くへの設置は、避けるようにしてください。）
- **DHCPクライアント機能により、DHCPサーバより自動でIPアドレスの取得が可能**
- **WEBブラウザによる、各種設定、設定状態確認機能**
- **MACアドレスによる接続制限機能**
- **ファームウェアのダウンロードによるバージョンアップが可能**
- **弊社製2M無線LANカードWLI-PCMを装着したパソコンとも通信可能。但し、WLI-PCMのドライバおよびクライアントユーティリティをバージョンアップする必要があります。**

⚠注意　本製品は、弊社製無線LANカードを装着したパソコンのみ通信が可能です。他社製の無線LANカードを装着したパソコンとは通信できません。弊社製無線LANカードWLI-PCMを装着したパソコンと通信をおこなう場合は、「弊社製2M無線LANカード(WLI-PCM)をお使いの方へ」(P37)を参照して、必ず無線LANカードのドライバおよびクライアントマネージャを再インストールしてください。

■本製品の設定に必要なOS

- **Windows98/95**
- **WindowsNT4.0**

メモ　本製品の設定には、Internet Explorer 4.0または、Netscape Navigator 3.0以降が必要です。

⚠注意　本製品の設定は、必ず有線LAN上のパソコンから行ってください。無線LANパソコンからは、本製品の設定はできません。

ESS-IDについて

ESS-IDとは、無線LANパソコンとアクセスポイントの通信時に混信しないためのIDです。
このIDが同一の値に設定されたアクセスポイントと無線LANパソコン間で通信できます。（ESS-IDは、無線LANパソコン同士の通信を行うときは無効です。）

ESS-IDの出荷時設定値

- **本製品のESS-IDの出荷時設定値：MACアドレスの下位6桁+「GROUP」**
  例えば、MACアドレスが「00:40:26:00:00:01」、グループ名が「GROUP」のときは、「000001GROUP」となります。MACアドレスの下6桁は、本製品左側面のシールに記載されています。
- **弊社製無線LANカードWLI-PCM-L11のESS-IDの出荷時設定値：AIRCONNECT**

ESS-IDの入力制限

大文字・小文字の区別があり、半角英数字およびアンダーバー"_"が32文字まで入力できます。

無線チャンネル

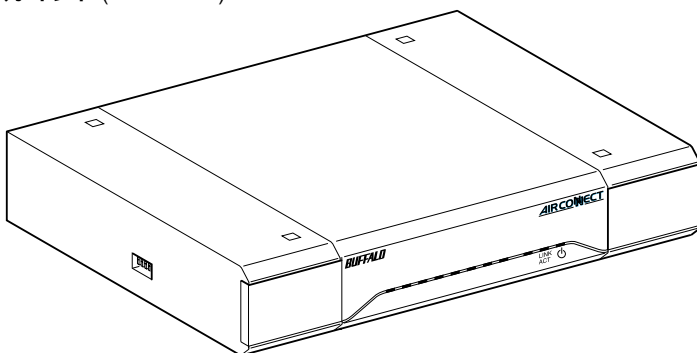
ESS-IDの異なる無線LANネットワークが１つのフロアにいくつかあるとき、他の無線LANネットワークで通信していると、通信速度が遅くなることがあります。これは、同じ周波数の電波を使用しているためです。この場合は、それぞれの無線LANネットワーク毎に使用する電波の周波数（無線チャンネル）を異なる周波数に設定することで、他の無線LANネットワークに関係なく通信することができます。
但し、隣り合ったチャンネルなど近い周波数では互いに干渉してしまうことがあります。複数のチャンネルに分けて使用する場合は、2～3チャンネル間隔をあけて使用してください。

※無線LANで通信する場合は、必ず無線チャンネルを同一の設定にする必要があります。

※無線チャンネルを変更して使用する場合、他の無線設備と電波干渉をおこすことがあります。

パッケージの内容

パッケージには、次のものが梱包されています。万が一、不足しているものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

アクセスポイント(WLA-T1-L11)..1台

無線LANカード(アクセスポイント用)..1枚
アクセスポイントユーティリティ..1枚
UTPストレートケーブル3m（カテゴリ５）..1本
壁取付金具..1個
壁取付用ネジ..4本
本体固定用ネジ..2本
ユーザーズマニュアル（本書）..1冊
ユーザー登録はがき・保証書..1枚

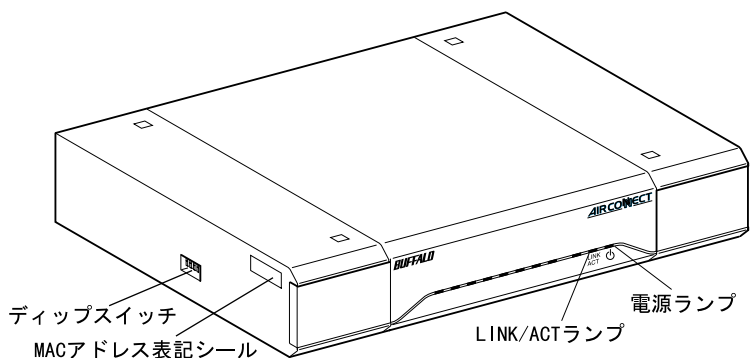
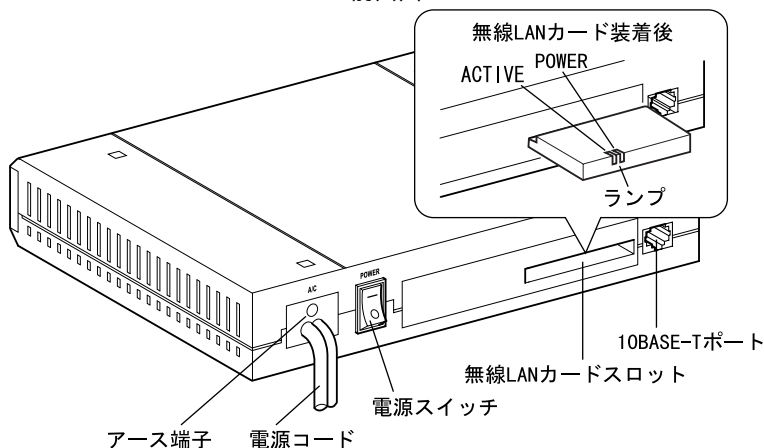
メモ

・ユーザー登録はがきは保証書を切り離した後、必要事項をご記入のうえ、必ず弊社までご返送ください。また、切り離した保証書は大切に保管してください。
・別紙で追加情報が同梱されているときは、必ず参照してください。

添付ディスクのバックアップ

安全のために、製品に添付されている「アクセスポイントユーティリティ」は、必ずバックアップを作成し、実際の作業はバックアップしたディスクを使用するようにしてください。

各部の名称とはたらき

アクセスポイントの各部の名称とはたらきについて説明します。

背面図

名　称	はたらき	名　称		はたらき
電源スイッチ	本製品の電源をON/OFFします。	無線LANカードスロット		製品に添付されている無線LANカードを挿入するスロットです。
電源ランプ	点灯：電源ON時			
LINK/ACTランプ	点灯：リンク時 点滅：データ送受信時	無線LANカード	POWERランプ	点灯（緑）：動作時
10BASE-Tポート	UTPストレートケーブルを接続するポートです。		ACTIVEランプ	点灯（緑）：データ送受信時

メモ　ディップスイッチのはたらきについては、「ディップスイッチ仕様」(P59)を参照してください。

セットアップの流れ

本製品を有線 LAN 上のネットワークに接続し、無線 LAN と有線 LAN を接続する手順を説明します。全体の流れを理解してください。

セットアップの前に本書をよくお読みください

1	パッケージの内容を確認する	ページ8
2	ユーザー登録カードを送付する	
3	本製品の取り付け	ページ12
4	設定用パソコンの設定	
	TCP/IP プロトコルの設定	ページ14
	アクセスポイントマネージャのインストール	ページ20
5	本製品の初期設定	
	本製品の検索	ページ22
	本製品の IP アドレスの設定	ページ23
	本製品の初期設定	ページ24
6	ネットワークへの接続	
	本製品と無線 LAN パソコンの接続	ページ27
	本製品と無線 LAN パソコンの接続確認	ページ31
	本製品の接続 / 電波状態の確認	ページ33
	ネットワーク上の他のパソコンとの接続	ページ35
	WLI-PCM をお使いの方へ	ページ37
	セットアップ終了	

正常に動作しないときは「困ったときは」を参照 ページ40

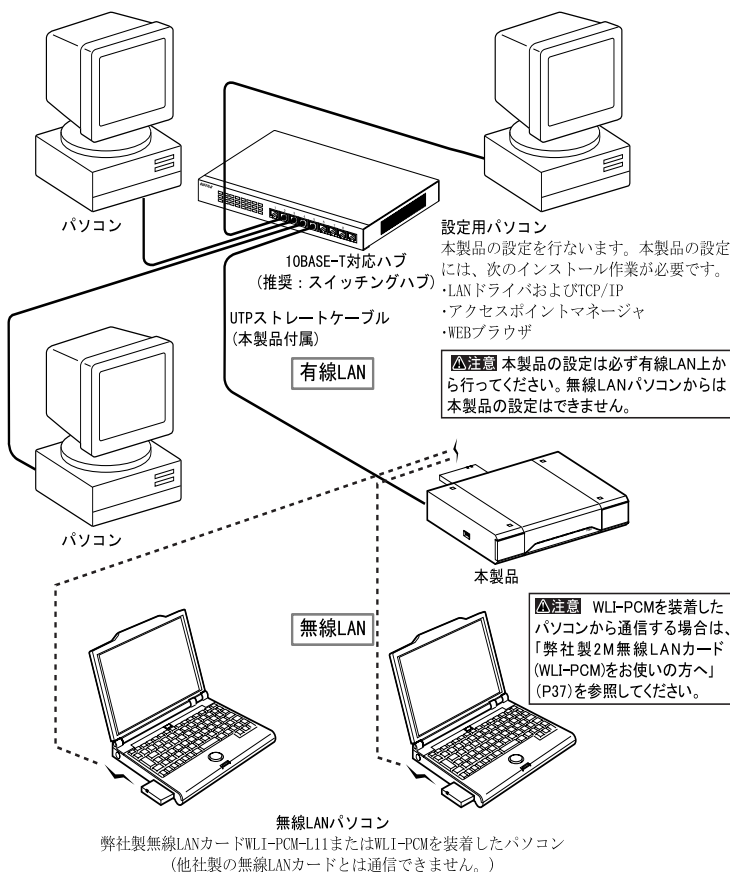
2 取り付け

本製品を接続した構成例と、有線 LAN 上のハブとの接続方法を説明します。

構成例

本製品を使用することにより、無線 LAN と有線 LAN の相互通信が可能になります。
本製品は、10BASE-T 対応ハブに接続しますが、スイッチングハブを使用したほうが、より快適にお使い頂けます。また、設定用パソコンをお使いのネットワークに１台用意してください。

▶参照 **アクセスポイントの設置については、「接続/電波状態の確認」(P33)を参照してください。**

無線LANパソコン
弊社製無線LANカードWLI-PCM-L11またはWLI-PCMを装着したパソコン
(他社製の無線LANカードとは通信できません。)

■無線LANパソコンの接続台数
本製品1台につき、最大253台まで接続できます。

■接続距離
屋内：見通し50m以内、屋外：見通し115m以内
※11Mbps通信時は、屋内25m以内、屋外50m以内(見通し)
但し、環境により接続距離が異なります。

本製品の取り付け

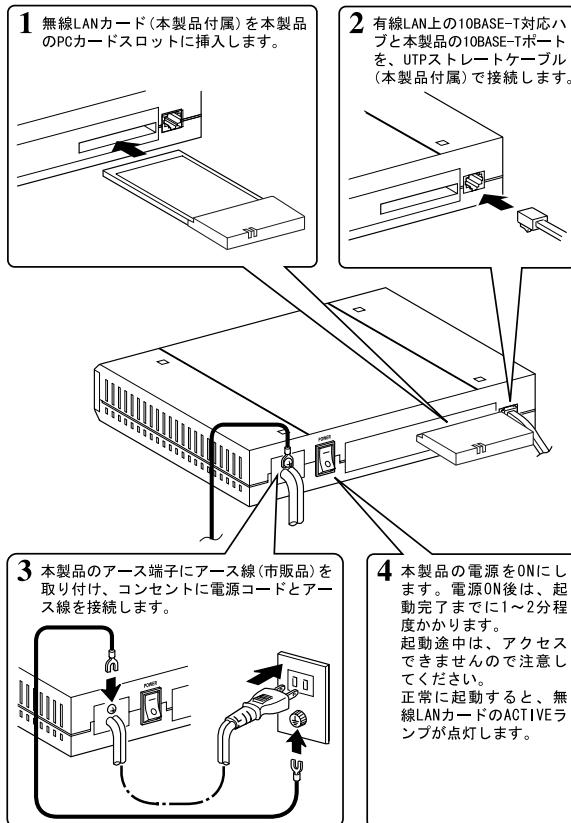
本製品の取り付け方法について説明します。

取り付け時の注意事項

- **無線 LAN カード（本製品付属）の抜き差しは、本製品の電源を OFF にしてから行ってください。電源が ON のまま抜き差しを行うと本製品が使用できなくなる恐れがあります。**
- **UTP ストレートケーブル（本製品付属）を接続するときは、コネクタ部分を持って接続してください。コネクタ部分を持たずに抜き差しすると断線する恐れがあります。**
- **弊社製無線 LAN カード WLI-PCM や他社製無線 LAN カードを本製品の PC カードスロットに取り付けないでください。**

本製品の接続

下図の手順に従って取り付けます。

⚠注意　アクセスポイントの電源が ON の状態のときに無線 LAN カードを挿入しても本製品は動作しません。必ず本製品の電源が OFF になっていることを確認して無線 LAN カードを接続してください。

次へ　「本製品の設置場所」（P13）へ進みます。

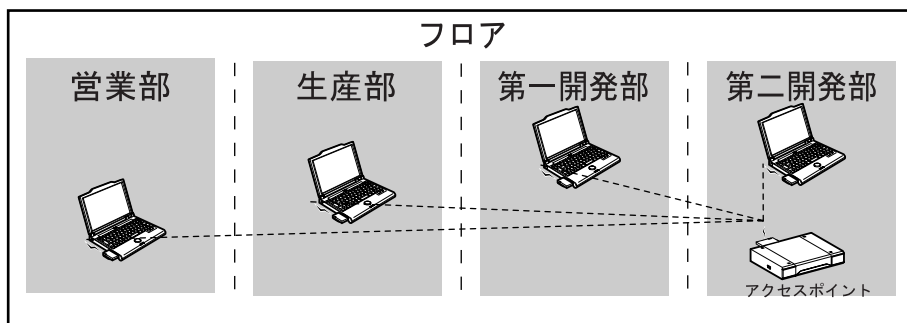
本製品の設置場所

本製品の取り付けが完了したら、本製品の設置場所を決めます。
本製品の接続距離は、見通しの良い場所で屋内 50m 以内、屋外 115m 以内（11Mbps 時は、屋内 25m、屋外 50m）となっていますので、その範囲内で設置場所を決めてください。

⚠注意　スチール机、スチール棚などの金属製のものの近くや、電子レンジ・無線プリンタバッファの近くへの設置は、避けるようにしてください。

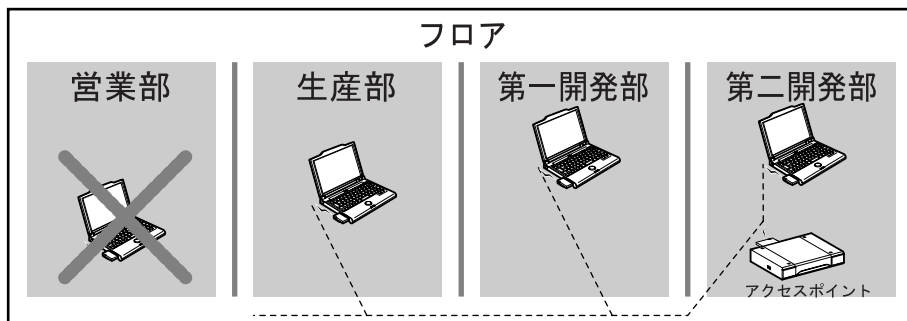
ここでは、設置例の良い例、悪い例を記載します。設置時の参考にしてください。

見通しの良い設置例（屋内）

下図の例は、部署間に障害物（壁や棚など）がない場合です。見通しが良いため、通信距離が長くなります。

見通しの悪い設置例（屋内）

下図の例は、部署間に障害物（壁や棚など）がある場合です。見通しが悪いため通信距離が短くなり、ある部署間では通信できないことがあります。この場合は、通信できない部署にも本製品を設置してください。障害物の材質によっては、近距離でも通信ができないことがあります。

次へ　「準備」(P14) へ進みます。

3 準備

本製品を設定する方法について説明します。
有線 LAN 上にある設定用パソコンを1台用意してください。

設定前の確認

本製品を設定するには、<u>有線LAN上にある設定用パソコン</u>に以下のものをインストールする必要があります。

- LAN ボードドライバ
- TCP/IP プロトコル
- アクセスポイントマネージャ(本製品付属のアクセスポイントユーティリティ for WLA-T1-L11)
- WEB ブラウザ(Internet Explorer 4.0 以降、または Netscape Navigator 3.0 以降)

⚠注意　**設定用パソコンに WEB ブラウザがインストールされていないときは、あらかじめインストールしてください。**

OS により設定手順が異なります。
Windows98/95 の場合・・・・・「Windows98/95 の場合」(P14) へ進みます。
WindowsNT4.0 の場合・・・・・「WindowsNT4.0 の場合」(P17) へ進みます。

Windows98/95 の場合

メモ　PC98-NX シリーズをお使いの方は、「■ TCP/IP プロトコルの確認」(P14) を行う前に「NEC 製 PC98-NX シリーズをお使いの方へ」(P19) を参照して、アドバンストモードに設定してください。

■ TCP/IP プロトコルの確認

次の手順に従って、設定用パソコンの TCP/IP プロトコルの確認を行ってください。

1　[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]を選択します。

2　[ネットワーク]アイコンをダブルクリックします。

3　[ネットワーク]ダイアログボックスの[現在のネットワークコンポーネント]欄に、「TCP/IP」が表示されていることを確認します。

1 枚の LAN ボードのみインストールされている場合

ダイヤルアップアダプタや 2 枚以上の LAN ボードがインストールされている場合

「現在のネットワークコンポーネント」欄に、「TCP/IP-> "LAN ボードドライバ名"」と表示されますが正常です。

メモ　表示されていないときは、「■ TCP/IP プロトコルの追加」(P16) を参照して TCP/IP プロトコルを追加してください。

次へ　「■ TCP/IP プロトコルの設定」(P15) へ進みます。

■ TCP/IP プロトコルの設定

次の手順に従って、設定用パソコンの TCP/IP プロトコルの設定を行ってください。

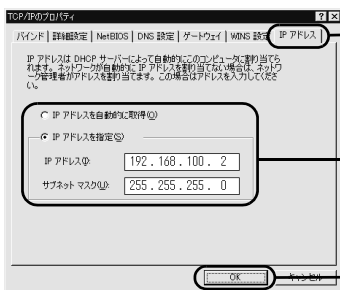
1 **[スタート] - [設定] - [コントロールパネル] を選択します。**

2 **[ネットワーク] アイコンをダブルクリックします。**

3

「TCP/IP」を選択し、[プロパティ] をクリックします。

4

[IP アドレス] タブをクリックし、IP アドレスを設定します。
IP アドレスの入力が完了したら、[OK] をクリックしてください。

⚠注意　設定用パソコンの IP アドレスの設定については、ネットワーク管理者に確認してください。

メモ　ネットワーク内に DHCP サーバが存在する場合は、「IP アドレスを自動的に取得」を選択します。

▶参照　IP アドレスの設定については、「IP アドレスの割り振りかたがわからない」(P50) を参照してください。

5 **Windows98/95 が再起動されます。**
設定用パソコンの TCP/IP プロトコルの設定は完了です。

次へ　「アクセスポイントマネージャのインストール」(P20) へ進みます。

■ TCP/IP プロトコルの追加

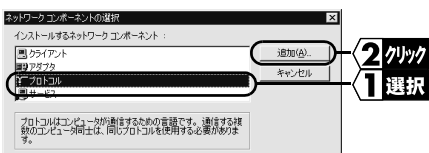
TCP/IP プロトコルが設定用パソコンに追加されていないときは、次の手順に従ってください。

1 [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] - [ネットワーク] を選択します。

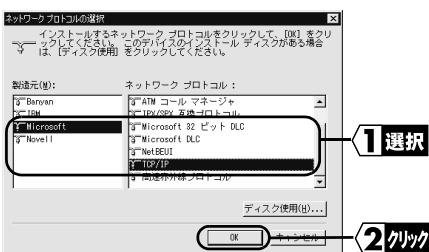
2

[追加] をクリックします。

3

[プロトコル] を選択し、[追加] をクリックします。

4

[製造元] に「Microsoft」を、[ネットワークプロトコル] に「TCP/IP」を選択し、[OK] をクリックします。

5

TCP/IP プロトコルが追加されます。

次へ 「■ TCP/IP プロトコルの確認」(P14) へ進みます。

WindowsNT4.0 の場合

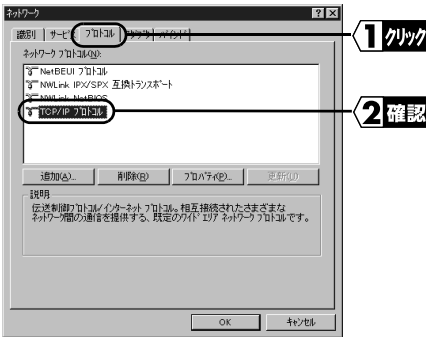
■ TCP/IP プロトコルの確認

次の手順に従って、設定用パソコンの TCP/IP プロトコルの確認を行ってください。

1 [ｽﾀｰﾄ] - [設定] - [ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ] を選択します。

2 [ﾈｯﾄﾜｰｸ] アイコンをダブルクリックします。

3

[ﾌﾟﾛﾄｺﾙ]タブをクリックし[ﾈｯﾄﾜｰｸﾌﾟﾛﾄｺﾙ]欄に、「TCP/IPﾌﾟﾛﾄｺﾙ」が表示されていることを確認します。

メモ 表示されていないときは、「■ TCP/IP プロトコルの追加」(P18) を参照して TCP/IP プロトコルを追加してください。

次へ 「■ TCP/IP プロトコルの設定」(P17) へ進みます。

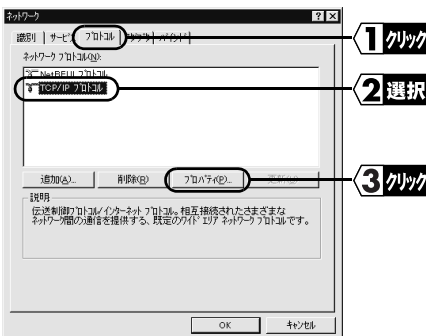
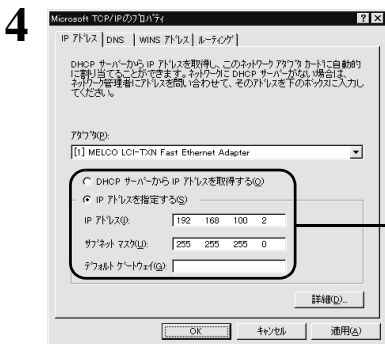
■ TCP/IP プロトコルの設定

次の手順に従って、設定用パソコンの TCP/IP プロトコルの設定を行ってください。

1 [ｽﾀｰﾄ] - [設定] - [ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ] を選択します。

2 [ﾈｯﾄﾜｰｸ] アイコンをダブルクリックします。

3

[ﾌﾟﾛﾄｺﾙ]タブをクリックし、「TCP/IPﾌﾟﾛﾄｺﾙ」を選択し、[ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ] をクリックします。

次頁へ続く

4

IP アドレスを設定します。
IP アドレスの入力が完了したら、[OK] をクリックしてください。

⚠注意 設定用パソコンの IP アドレスの設定については、ネットワーク管理者に確認してください。

メモ　ネットワーク内に DHCP サーバが存在する場合は、「DHCP サーバから IP アドレスを取得する」を選択してください。

▶参照　IP アドレスの設定については、「IP アドレスの割り振りかたがわからない」(P50) を参照してください。

5 WindowsNT4.0 が再起動されます。
設定用パソコンの TCP/IP プロトコルの設定は完了です。

次へ　「アクセスポイントマネージャのインストール」(P20) へ進みます。

■ TCP/IP プロトコルの追加

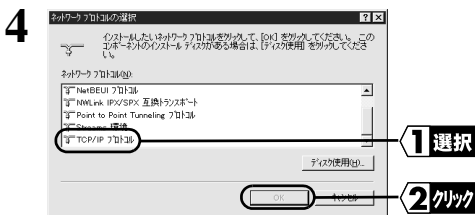
TCP/IP プロトコルが設定用パソコンに追加されていないときは、次の手順に従ってください。

1 [ｽﾀｰﾄ] - [設定] - [ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ] を選択します。

2 [ﾈｯﾄﾜｰｸ] アイコンをダブルクリックします。

3

[ﾌﾟﾛﾄｺﾙ] タブをクリックし、[追加] をクリックします。

4

「TCP/IP ﾌﾟﾛﾄｺﾙ」を選択し、[OK] をクリックします。

5

TCP/IP プロトコルが追加されます。

次へ 「■ TCP/IP プロトコルの確認」(P17) へ進みます。

NEC 製 PC98-NX シリーズをお使いの方へ

「CyberTrio-NX」がインストールされている機種では、「CyberTrio-NX」※をアドバンストモード以外のモードで使用していると、本製品のドライバが正常にインストールできないことがあります。ドライバをインストールする前に、アドバンストモードに変更してください。

「CyberTrio-NX」がインストールされているパソコンでは、タスクバーに「CyberTrio-NX」のインジケータが表示されます。

※ CyberTrio-NX とは
パソコンを使う人ごとに、Windows98/95 の動作範囲やアクセスできるフォルダを限定するための機能です。詳しくは、パソコン本体のマニュアルを参照してください。

次へ 「■ TCP/IP プロトコルの確認」(P14) へ進みます。

アクセスポイントマネージャのインストール

本製品の設定は、アクセスポイントマネージャ (本製品付属) から行ないます。

インストールの前に

アクセスポイントマネージャの起動方法は、次の 2 種類があります。

・**ハードディスクにインストールして起動する (推奨)**
次へ 「インストール」(P20) へ進みます。

・**本製品付属の 「アクセスポイントユーティリティ」 から直接起動する**
次へ 「設定」(P22) へ進みます。

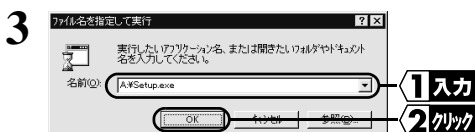
インストール

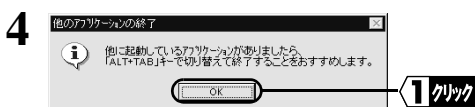
アクセスポイントマネージャは、設定用パソコン 1 台のみにインストールします。 有線 LAN 上のネットワークの全てのパソコンにインストールする必要はありません。
次の手順に従って、アクセスポイントマネージャを設定用パソコンにインストールしてください。

メモ アクセスポイントマネージャのアンインストール手順については、「アクセスポイントマネージャのアンインストール」(P21) を参照してください。

1 「アクセスポイントユーティリティ」をフロッピードライブに挿入します。

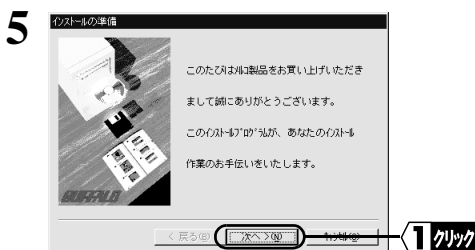
2 [スタート] - [ファイル名を指定して実行] を選択します。

3

「 A:\SETUP.EXE 」(フロッピードライブが A ドライブの場合) と入力し、 [OK] をクリックします。

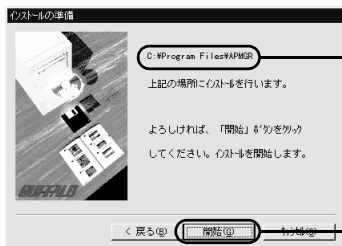
4

他に起動しているアプリケーションがある場合は、終了させてから、 [OK] をクリックします。

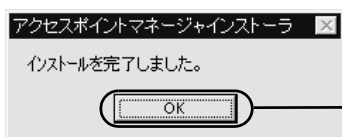
5

[次へ] をクリックします。

6

アクセスポイントマネージャのインストール先を確認し、[次へ] をクリックします。

メモ インストール先を変更したいときは、新しいインストール先を入力してから、[次へ] をクリックしてください。

7

表示されたインストール先を確認してから、[開始] をクリックします。
ファイルのコピーが始まります。

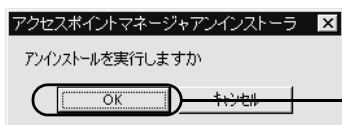
8

[OK] をクリックします。
アクセスポイントマネージャのインストールが完了します。

次へ 「設定」(P22) へ進みます。

アクセスポイントマネージャのアンインストール

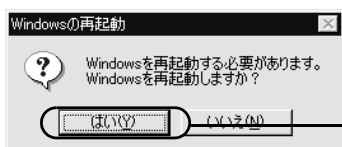
次の手順に従って、アクセスポイントマネージャのアンインストールを行ってください。

1 **[スタート] - [プログラム] - [MELCO アクセスポイントユーティリティ] - [アクセスポイントマネージャアンインストール] を選択します。**

2

[OK] をクリックします。
アクセスポイントマネージャのアンインストールが開始され、ファイルとアイコンの削除が自動的に始まります。

3

[OK] をクリックします。
アクセスポイントマネージャのアンインストールが完了します。

4

[はい] をクリックします。
パソコンが再起動されます。